

学びを深め合うための書く活動を生かした授業づくり

始良市立松原なぎさ小学校 教諭 天目石 愛

はじめに

本校では、「学びを深め合うための書く活動を生かした授業づくり」をテーマとして研究に取り組んでいます。各単元の目標を踏まえて、児童の実態に応じた書く活動を効果的に取り入れた授業改善を図ることで、学びを深め合う児童の育成を目指し、取組を進めているところです。

研究の実際

「授業づくり」に関する共通理解

年度初めに、授業づくりについて全職員で共通理解した上で、実際の授業づくりは学年部を中心に取り組んでいます。各学年の実践を振り返り、成果と課題を共有して日々の授業における改善点の明確化を図っています。

○ 「授業づくり」における共通理解事項

- 1 学年毎に重点授業を行う教科、単元の設定。
- 2 児童による自己評価と教師の見取りを基に、既習内容の定着状況や生活経験に関する児童の実態把握。
- 3 単元を通して身に付けさせたい力や、それにつながる書く活動の設定及び評価規準や評価方法の明確化。

■ 授業実践例の概要（第5学年：国語科）

○ 単元

「文章の要旨をとらえ、自分の考えを発表しよう」（本時6 / 7）

○ 本時における身に付けさせたい力

文章の表現や構成に注視して、文章の要旨を捉えることができる。

○ 身に付けさせたい力につながる「書く活動」

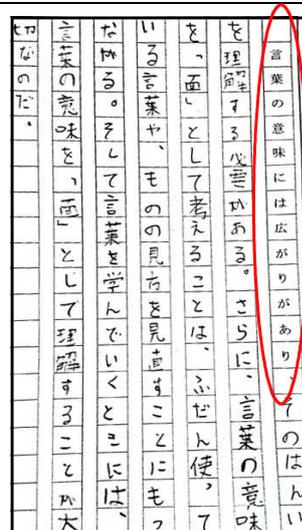
文章構成、キーワード、キーセンテンスを基に要旨を捉え、まとめる。

※ 字数制限…150字程度、時間制限…10分間

○ 本時の手立て

児童の実態に応じて、次の表に示す3種類のワークシートを準備しました。

種類	内 容
1	設定字数に合わせたマス目のみのワークシート
2	文章の書き出しを指定したワークシート
3	キーワード等を当てはめることで文章を作成するワークシート



【使用したワークシート2の一例】

また、児童の主体的な取組を促すために、使用するワークシートは児童自身に選択させることにしました。

多くの児童が、文章の書き出しでつまづいている実態を受け、あらかじめ書き出しを指定したワークシートを準備したことで、児童が要旨を捉えやすくなり、積極的に書く活動に取り組む姿が見られました。

○ 本時における「身に付けさせたい力」の到達状況

評価	評価規準	到達状況
A	B評価に加え、文と文のつながりを意識して適切な表現でまとめることができる	35%
B	キーワードを入れ、条件に沿ってまとめることができる	45%
C	条件に沿ってまとめることができない	20%

上記の評価結果から、本時における「身に付けさせたい力」について、8割の児童が概ね到達できたことが分かりました。

■ 1学期の研究を振り返って

書くための条件を示すことやモデル文の活用、児童の実態に応じたワークシートの工夫が多くの学年で効果的だったことが分かりました。

■ 関係機関との連携

鹿児島大学教育学部の原田義則准教授を講師として招聘し、書く活動を生かした授業づくりに関する研修を行いました。本校の課題である「書けない児童への個別指導はどうあればよいか」、「考えの根拠、理由を書く力を付けるには」等について、児童による振り返りの有効活用など、具体的な授業改善のヒントを得ることができました。

■ おわりに

1学期の研究は、全学年国語科で行いました。2学期は、国語科の学びを他教科に発展させていきます。さらなる学力向上を目指し、今後も授業改善に努めていきたいと考えています。